



編集／発行／岡崎市教育委員会／昭和50年2月1日

温故知新

科学の世界は

日進月歩であるが

先人の業績は

誠に

偉大である

東大物性分子科学研究室
国立分子科学研究所準備室長

井口洋夫



(心はずんで 本宿小)

めぐり合い

青木章心

フロリダ州都、クラハシー市のある小学校。ひとりっ子だけで編成されたフアミリークラスというのがある。

ひとりっ子は、えてして独善的であり孤立性が高い。わがままで協調性も薄い。そこで、このクラスで学年差をはずして相互に学習させる。六年は五年以下を、五年は四年以下を、一年生でも幼稚園児の学習をみてやる。先生はできるだけ一緒にいないようにする。

このクラスを設けてから、子どもたちは、まず学校へ行くことが楽しくてしようがないというようになった。教えるということは自ら学ぶこと。学んだことを一刻も早く伝えたい。そうして責任を果たしたい。果たすことのよろこび。その中における相互の親近感、信頼感の定着、協調性も得られる。兄弟のない子の兄弟愛の獲得。この協力と思いやりとを養おうとしたことがさまざまな結果、とくに教育以前の問題が見出され、どうやらのぞましい方向に解決しているという。

小さな、可愛い子どもたちが、それこ

そ眼を輝かせ、励まし合い、助け合い、学習に余念がない情景が今でも胸に焼きついて離れない。

南オレゴン大学の教育学部長は、学校へ入ったのはずいぶん遅かったということだ。第一、学校というものが大嫌いだった。

彼は、子供のころ学校へ行かないで、近くの蹄鉄業のお爺さんの仕事場で終日を過ごしたという。真紅の炎の中に鉄を入れる。焼けた鉄を打つ。伸ばす。火に入れる。また打ち伸ばす。馬の足に寸分も狂いのない蹄鉄が打たれる。時には汗をぬぐい、口から泡をとばしながらの話

に耳を傾けたという。

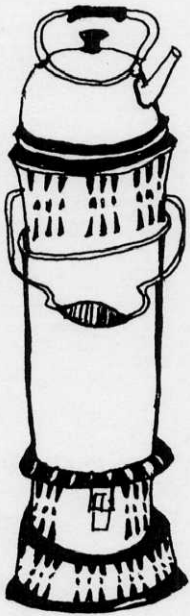
お爺さんから勉強することの大切なことを教わった。学校へ行く気になった。彼の今日は、年老いてなお撓みなく働きつづけたお爺さんがいたからなのだ。子供の時にこそ、いい大人にめぐり合わなければいけない、としみじみ思う。

教師は大人であるけれど、みんないい大人とは限らない。いいとは、人間としていいのかということ。人柄の悪い大人は、いいとはいえない。多感な少年時代の大半を送る場としての学校、その中にある教師は、いい大人ばかりとはいえない。

とにかく私は、少年時代にこそ、いい大人とのめぐり合いの重要なことを大きく叫びたい。いつもいつも、恐らく生涯彼の心には、蹄鉄を打つお爺さんがあり、この人こそ、不滅の灯をともしてくれたと思いつづけることだろう。

教師は、いい大人、いい影響を与えるなどと考えることは、思いあがりもはなはだしいのではないか。だからこそ、私たちは、いい教師である以上に、いい人間、豊かな人間への努力を重ねたい

(ソニー教育振興財団常務理事
東京家政学院大学教授)



いまはむかし

寒げいこ



▼前日の汗が水りついた剣道着を素膚に着ける。ぐつと臍下丹田に力を入れ、腹の底からしほり出すかけ声。激しい打ち合いが一しきりすむと、手足の感覚ももどり、やっとと人心地つく。

楽しみはその後に食べる弁当。まだ温かいのを半分だけ平らげ、あと半分は昼用にとっておく。

▼戦時中は「戦地の兵隊さんのことを思え」というのが合いことば。手袋、靴下(足袋)はなし。ポケットもぬい合わせでしまい、素足で運動場を走り回ったりしても平気だった。

心身の鍛練も、戦いが激しくなるにつれてエスカレート。はちまきをして上半身はだかの全校体操。校長先生自ら台上で大太鼓を打つての陣頭指揮——といった勇ましい光景も見られた。

▼かけ足は、いつでも、どこでも、だれでもできるといつた利点があり、昔から



生平地づき歌

昔から歌い継がれてきた各地の古謡は、そのほとんどが祭事、労働に関するものである。特に労働に関するものは、地づき歌、棟上げ歌、木挽き歌、各種木遣等数多い。

この歌も、神社、仏閣等の建設にあたって村中総出で樽を組み、地づきを威勢よく行なう際に歌われたものである。

現在では家の建前の後の祝宴等でわず

かに村の古老達によって歌われる程度で、それも年々聞かれなくなってきた。今回の「生平地づき歌」は、昨年(二)月に、当時生平小学校校長であられた、今は亡き鳥居敏一先生が「生平昔語」の続編を意図し集録されたテープによるものである。

音頭 アヨーイ ヨーイ ヨーイヤナ

生平地づき歌

一楽 定舞 杉 田 一
舞 舞 舞 舞 舞
舞 舞 舞 舞 舞

ア ヨイヨ---イ ヨイネ ア ヨイヨ---イ ヨイネ わしの

しろくけ-に ほめるは-は いが- のまはん--おアツシイ

い--う-が しろくてあまくて おこども(わ)には さむ-し-

で--り

お--り

おこども(わ)には さむ-し-

お--り

おこども(わ)には さむ-し-

ヨ イー ヨ ---イ ア-コノイ コノイ

つき子	音頭	つき子	音頭	つき子	音頭	つき子	音頭	つき子	音頭	つき子	音頭
アヨーイ	ヨーイ	ヨーイヤナ	わしの自酒	ではめる	じやないが	のましやんせ	ア-ナンジャイナ	色が白く	てお子ども	衆には	サ虫ぐすり
は	サ虫ぐすり	ヤレ虫ぐすり	色が白く	て	お子ども	衆には	サ虫ぐすり	ヤレ	ヨ-イサ	ヨイヨイ	ア-
ア-	ナンジャイナ	足でお	足で	さが	らず	お手々と	手と	手	で	さん	さが
ヤレ	さん	さが	る	足で	お	足	で	さ	が	ら	ず
ア-	ナン	ジャイ	ナ	ア-	ナン	ジャイ	ナ	ア-	ナン	ジャイ	ナ
ア-	ナン	ジャイ	ナ	ア-	ナン	ジャイ	ナ	ア-	ナン	ジャイ	ナ

よく行なわれている。学校の周辺を回ったり、神社へ参拝したりで、三、五キロメートルは走った。教室へ入り、はだかになって流れる汗をタオルでふきとったものだ。

身体はもちろん、精神も鍛えるというのが、戦後は、体を温める――暖をとる――程度のかげ足になった。暖房設備のない頃は、唯一の保温手段でもあった。最近では体力づくりの面から、またかけ足が見直され、各校で意欲的にとり上げられるようになってきた。

▼寒中水泳も、寒さに負けぬ若者の意気を示す最たるもの。

昭和二十二年、美川中の生徒で試みた時は、大八車に薪を山積し（水泳後体を暖めるため）菅生川原までゴロゴロとといったあんばい。前日、寒風吹きささぶ中で準備中、誤って水中へドブーン。一足先の寒中水泳。その冷たさ辛さは忘れられない。古式床しい模範泳法、水中で日傘をばつと開くと、「水人一如」の文字が現われる、すかさず橋の上の見物人から、やんやの喝采。こういう時には身を切るような冷たさも忘れてしまうほど。公害がやましく言われ、河川もよごれが目立つようになり、保健管理上の理由から中止されて十年余。このころからすべての面で子どもを過保護にしてしまったのではないか、という声もあるが。

(三井光治・神原正・栗田昭夫先生、その他大ぜいの先生のお話から)



「森先生に捧ぐ」
終焉の、その日まで

教理か、倫理、哲理か
あくなき実践への闘志は

老軀に鞭うち
貪欲なまでの

無形文化の生産者となる

ひきつけて離さぬ

魅惑を秘めた

一徹老人

その深さ、広さ、大きさは
更に静かに空間をひろげ
推し測れない

(神戸・一会員)

実践人冬期研修会



市内各学校のご協力を得、岡崎の教育の総力をあげて開かれた「実践人、冬期研修会」はきわめて盛会であった。一月二十五日～二十七日までの三日間、額田郡千万町の愛知県野外教育センターに、市内はもとより、遠く九州をはじめ県外各地から二〇〇名を越す会員の参加を得、折からの寒気を吹き飛ばすほどの熱気に

満ちた研修会となった。多彩で豪華な一流講師陣を揃えた魅力ある講演、共同生活での触れ合いなどを通じて実践への意欲をかりたてられたのだった。ここに参集した者ひとしく深い感銘を得て師走の山から下った。岡崎の教育の心意気がここに結果し、吹く風はさわやかであった。

写真説明(上より)

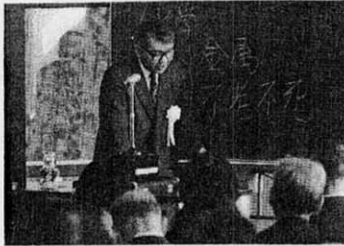
- ・ようこそ千万町へ——受付で
- ・熱気のこもる分科会
- ・講師を囲んでなごやかに談笑
- ・真剣なおももちの会員
- ・バラエティに富んだ資料の掲示





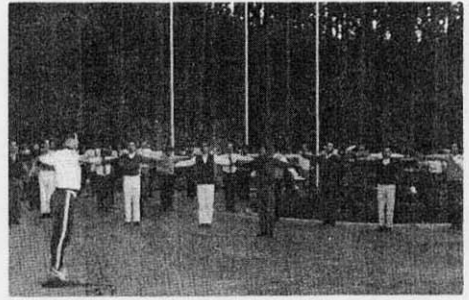
・理想的な会の運営です。この情熱、この気迫、徳川家康をめぐる三河人の気質が残っていますね。信濃教育をいかにして乗り越えようか、という意欲がみられます。

(講師の声)



・速報ごくろうさまです。速報での心のつながりすばらしいです。それだけに目に見えない努力に心から感謝します。

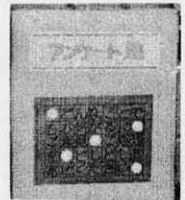
(富士市、一会員)



意気・熱気



「初め、もっと年寄りの人たちの会だと思っていたんですよ。でも、ここへ来て本当によかったですよ。劣等感なんか吹き飛んでしまった感じです」
廊下を掃きながら若い女の先生が言う。
「来年も、どうしても開いてもらいたいねえ。」
そばで仲間の先生の同感の声。あわただし朝のひととき。



写真説明

上より

- ・森信三・井口洋夫・杉浦明平・後藤金好
山本忠男の諸先生

右上より

- ・山の冷気についてラジオ体操
- ・そうじも研修のうち
- ・くい入るように研究物を見る人
- ・活躍したアンケート箱
- ・遠来の客とごやかに懇親会



— 講演記録 —

学級担任がすすめる音楽指導

高山教育事務所主事

山崎 俊 宏

一年生から六年生までの子どもさんのほんとうにすばらしい演奏を聞かせていただき、今なおその感動が心に残っています。

音楽とは、音を楽しむことじゃないかなと思います。ひとりひとりの子どもさんが音楽をからだ全体で楽しんでいる姿はどこにでもあるというものはございません。

子どもさんのリズムや拍の流れにのった躍動的なあの動きは、本校の先生方がずっと積み上げた結果ではないか、生き生きとしたあの姿に、義務教育としての音楽教育は、この六ツ美北部小学校にあったということをしみじみと感じたことでした。

やはり、義務教育という以上みんなの子どもがその子なりに伸びていく、先生とすれば伸ばしてやりたいというのが願ひじゃないかと思うのです。

そこで、私が日ごろ頭に描いている音楽の授業とか演奏とか

の姿を申し上げますと、

まず、子どもたちが生き生きしているかどうかということ。

二つめには、ひとりひとりの子どもたちが、ほんとうに歌をうたって活動していたかどうか。

きょうここで見せていただいた子どもさん、もうこれ以上あげられないというくらい、口をあけて一生懸命うたっていましたね。

それから、私たち先生側にもしますと、みんなの先生が、二十人おれば二十人で、三十人おれば三十人で、みんなの子どもを育てているかどうかという観点。四つめは、小学校でいえば六年間に、ほんとうに子ども達は順番に育っているかどうか、ということ。

ところで、本校のように学級担任で進める音楽指導にも、問題はいろいろあると思います。それは、音楽をどう指導するかということ、問題があるわけ

です。やれ、発声がどうか、和音がどうか、笛の吹き方は、とこういうことでしたら、これは音楽をどう指導するかということですから、問題があるかも知れません。

ところが、音楽を通して人間を育てるということになりましたら、これは、担任以外に絶対できるはずはございません。しかし、学校には、音楽の得意な先生もあるでしょうし、不得意な先生もあるわけです。ですから、こういう系統、こういう道

すじで進んでくださいという、いわゆるカリキュラムが、学校に欲しいわけです。思いつきでやっていたら、これは絶対に身につけていくものではないです。余談になりますが、野球の王

や長嶋が相手の投手から恐れられたのは、常に三割を維持したからです。三本に一本はヒットを打たれる可能性があるからです。

学級で、私達が三割を常に維持していくような、もし授業をやったら、これは子どもが順番に育っていくわけですね。こういう系統が欲しいですね。

一つは組織ですね。つまり一人の先生がどれだけ逆立ちしたってね、何分の一です。全部の先生で取り組む。先生方みんなが同じ考えに立って、よしこれを進めていこうという共通の基盤に立ってやるのが、一番大切なことです。

学校の音楽教育というのは、第二の美空ひばりとかね、そう

いうものを育てるのではなく、やはり心を通した人間づくり、人間教育であると思います。

こう考えますと、どの子ども同じように大切にされてるだろうかということ、どの先生に出会っても、その学年の責任分だけ果たされているかどうか、こういうことが条件として整っているかどうかが問題となります。

つまり、どの子ども同じ能力をつける機会に恵まれているだろうか、また、だれでもできるような方法があるだろうか、そのための系統と組織をぜひ持つてほしいというのが、私の結論です。

(時・昭和四十九年十二月十一日
場所・六ツ美北部小学校)

かがみ

教師なりたて

山本 京子

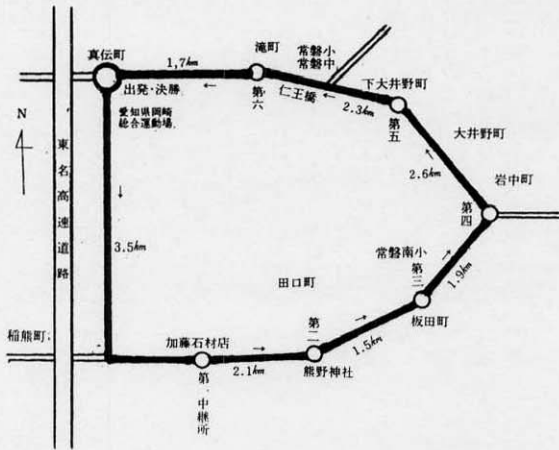
(11月21日) 国語の時間のこと、「できたて」のように「~したて」ということばをさがしてみました」と問いかけた。出足不調。調子にのっていたAが「おろしたてのくつ」と「くつ」までつけて言ったとたん、出てくる出てくる。とうとう放課までくい込んでしまった。予想だにできなかった子が、これまた予想だにできなかったことばを考えて発表した。「消したてのたばこのすいがら。」「ふかしたてのじやがいも」etc. 「~したてっていうのは~したばかりということじゃんね」とBがぼそつと言ったところでこの時間は終わった。こういうことなら抵抗なく、いつもより大きな声で話し合えるのに……。

これは子どもの中に飛び込んでまだ半年ちょっとの私、先生になりたての、小さな記録と大きな実感である。それにしても、なんと喜怒哀楽に満ちた生活を私は送っているだろうか? (福岡小)

駅伝競走大会の成績

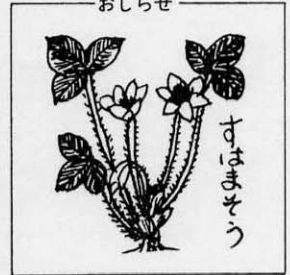
区 間 賞							団体の部							
7	6	5	4	3	2	1	区間	6	5	4	3	2	1	順位
近藤昭夫 (矢作A)	平石順一 (岩津A)	中根康継 (常磐)	丸川公生 (甲山A)	中野信昭 (城北B)	新居利之 (甲山A)	石川秀明 (甲山A)	鈴木英典 (矢作A)	南	常磐	城北	岩津	矢作	甲山	チーム名 (二連勝)
6分03秒	6分03秒	6分56秒	7分31秒	5分17秒	5分48秒	6分32秒	11分04秒	53分02秒	52分55秒	52分40秒	52分08秒	50分54秒	49分56秒	時 間
														備 考 (大会新)

コース略図



23	22	16	15	12	11	10	9	8	5	4	2	1	日
連尺	福岡・生平	奥殿	梅園・根石・愛宕	細川・秦梨・藤川	竜谷・六ツ美南	六ツ美中部	矢作	矢作南	美合・三島・常磐・恵田	北	美合・三島・常磐・恵田	北	廣幡
													男川
													矢作東
													岡崎・山中・本宿
													六名・大樹寺・羽根

おしらせ



市内全中学校が参加

第二六回市民駅伝競走

新春恒例の岡崎市民駅伝競走大会が一月一九日(日)に行なわれた。午前九時三〇分、県総合運動場での開会式に続き、七区間、一五・六キロメートルにわたって若さと根性によるレースが展開された。市内全中学校が

らの参加は本大会が初めて。甲山中Aチームが昨年に引き続き見事優勝、大会新記録で二連勝を飾った。
 ・場所 県岡崎総合運動場周辺
 ・参加校 市内中学校一四校、二六チーム

〔刊行あんない〕

▼岡崎の歴史物語
 岡崎の歴史物語編集委員会編 郷土に残る先人の豊かな足跡を史実に基づき読みやすい物語としたもの。さし絵、写真を豊富に収めた貴重な郷土歴史読本。A5判、二六六ページ。二〇〇

一、一〇〇円、三月発行予定

▼小さな願い 福岡小
 二年間にわたる「ひとりひとりの能力を高める学習指導」に取り組んだ教師の記録。教室の中から生まれた挿話は珠玉の輝きがあり楽しい。変形B5判 一四六ページ。

■中学校造型展

▽期日 二月八日～一二日(五日間)▽場所 市美術館▽内容 生活をテーマとした絵、版画、デザインなどの作品の展示。

■二月の研究発表校

▼矢作西小学校 一四日(金)

▽主題Ⅱ読書の指導(読書の楽しさを求めて)▽内容Ⅱ公開授業(一〇分間読書の授業)、研究発表、分科会(一年、二三年、四六年、教師の四部会)

▽講演Ⅱ「書く楽しさと苦しみ」 県立大講師かつおきんや先生。
 ▼岩津小学校 二六日(水)

▽主題Ⅱ活動力のあるからだづくり、ボール運動(バスケットボール型)▽内容Ⅱ学級なかよし運動、研究授業、研究発表、研究協議、▽講演Ⅱ「心とからだの健康づくり」東京教育大名

誉教授博杉靖三郎先生

■ご厚志

▽ロッカー一六四個
 中学校でのクラブ更衣用として、また小学校の整理箱用として格好のコインロッカー一六四個を、富士スチール株式会社(大川博美社長)からご寄贈。

■県学校環境緑化コンクール

昭和四九年度県学校環境緑化コンクールの審査会が開かれ、竜海中特選、愛宕小入選。表彰式は五月県緑化推進大会の席上で。

■二月の学芸会予定(小学校)

2月の行事



日	曜	行 事
1	土	岡崎図書館協会創立20周年記念行事 (記念式、発表会、作品展)
2	日	
3	月	
4	火	49・50年度研究校打合せ会(市役所) 県中学校家庭科A班研修会(7日まで・県教育センター)
5	水	附属養護学校研究会
6	木	指導主事学校訪問(連尺小) 県小学校養護教諭研修会(7日まで)
7	金	教頭・教務主任研修会 学校事務職員東海大会(8日まで・市民会館)
8	土	小中学校造形展 市美術館(12日まで)
9	日	中学校サッカー大会(公園、城北中) <知事選挙>
10	月	
11	火	<建国記念日> 中学校サッカー大会(公園、城北中)
12	水	県小学校音楽講座(14日まで・県教育センター)
13	木	
14	金	矢作西小研究発表会
15	土	<滝山寺鬼祭り>
16	日	
17	月	
18	火	県中学校家庭科B班研修会(21日まで・県教育センター)
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	岡教組定期大会・勤労会館
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	岩津小研究発表会
27	木	
28	金	

- 日本語をさかのぼる 大野 晋
岩波新書 49・11 ￥ 230
- 授業・人間について 林 竹二
国土社 48・4 ￥1000
- 子どもと本をむすぶもの いぬいとみこ
晶文社 49・12 ￥1200
- 問題児の理解と指導 中西芳夫
愛知郷土資料刊行会
49・9 ￥1500
- 考へるヒント2 小林秀雄
文芸春秋 49・12 ￥1300
- 三とせの春は過ぎやすし 杉浦明平
河出書房新社 49・12 ￥1200
- 末世を生きる 山田無文・水上勉
講談社 49・1 ￥690
- 梅干と日本刀 樋口清之
祥伝社 49・11 ￥550
- とちの木の子ども 伊東清和
愛郷刊 49・12 ￥1000
- 終戦直後(上下) 三根生久大
光文社 49・9 ￥680

心 研 是 光 歳 は は 有 二
を 修 石 と 陰 月 や 意 月 月
で と と 空 の の 、 義 果
鋭 く と しく の 流 の 二 義 虚
く 研 渉 流 れ の れ の 二 義 空
す 修 こと へ る 早 の 早 の 二 義 空
る 修 とな 驚 き に 驚 き 二 義 空
こ 修 かな くに 驚 き に 驚 き 二 義 空
と 修 けれ と くに 驚 き に 驚 き 二 義 空

寸言

二月果つ虚空に鳩の銀の渦 塚原岬

●カット 岡本之男 (美合小)